

「フッピートーク2023 ～袋井市議会議員と袋井市の未来を語ろう～」

袋井市議会では、一般市民向けの議会報告会を令和5年11月26日（日）に開催しました。本年度の市議会報告のほかに、テーマ別に参加者と市議会議員と意見交換会（フッピートーク2023）を行いました。

なお、各テーマにおける提案の主なものは次のとおりです。また、当日の様子を模造紙に文字やイラストで表現した「グラフィックレコーディング」を令和6年2月9日（金）まで市役所1階市民ホールに展示中です。



◎テーマ：みんなでできる防災・減災対策

参加人数 議員：6人 市民：13人

- 「自分の命は自分で守る」を基本として、各家庭において非常持ち出し品や家庭での備蓄品などの点検を強化する。
- 外国人居住者の防災訓練の参加について、地域や就労企業などと連携し、参加者の拡大を図る。
- 家族の無事を示す黄色の旗を掲げる取組を市内に広める。
- 中学生、高校生の防災訓練の参加者の拡大を図る。
- 防災訓練時に中高生向けの講習を実施し、メローねっこの登録の手助けをしてもらう。
- 自治会で避難所運営ゲームを定期的に実地する。



◎テーマ：未来の学校部活動

参加人数 議員：6人 市民：14人

- 子どもたちの考えを尊重していくことが大切である。
- 多様な価値観に応じた多様な選択肢と多様な運営とサポート体制作り。
- 経済的理由で民間チームに入れられない生徒さんには、支援金制度を設ける。
- 教育と競技力（アスリート育成）については、分けた考え方で進める。
- 指導員において、元気な高齢者の登用。（知識、技術の継承、部活とは違う職業体験）
- 市内における隠れた指導者人材の発掘と交流の機会創出。



◎テーマ：地域の魅力を活かした「稼ぐ力」

参加人数 議員：6人 市民：13人

- 袋井駅に降りたときに「袋井に来た」と思うような街づくり。（例えば、お茶やメロンなどの特産物をアートと関連させるなど）
- ICTを活用して、映像などで本市を積極的にPR。
- 特産品を生かした6次産業品の開発。
- 耕作放棄地の活用や大規模堆肥場の開設。
- スポーツ協会、浅羽町商工会、観光協会、市が一緒になって、スポーツツーリズムの機運を盛り上げたい。（ツーリズムの強化）
- 海の良さをイベント・催し物を通じて、アピールする。

